

カンガルーシップ活動 理解プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年2月7日(木)
学校名	宮城教育大学附属特別支援学校
PTA会長名	目崎 由美

実施概要	実施活動名	ふとくまつり
	実施日時	平成30年9月15日(土) 10:30~13:00
	実施場所	宮城教育大学附属特別支援学校 体育館
	実施目的	本校児童生徒が一般の方と直接かかわりをもつことができる「ふとくまつり」で、販売や接客を通して触れ合ったり、活動の様子を見てもらったりすることにより、特別支援学校に通う子供たちへの理解・啓発を促し、インクルーシブな共生社会の重要性を感じてもらうことを目的とする。また、大学生及び附属中学校生徒にボランティア参加してもらい、交流を通して、同じ社会に生きる人として互いに正しく理解し、共に助け合い、支え合っていくことの大切さを学ぶ機会とする。
	実施内容	生徒が作業学習で製作した製品の販売・接客を通して、来校者と交流した。喫茶コーナーでも企画から運営、接客までを行った。出店された各コーナーでの買い物やゲームブースで、来校者や学生ボランティアと交流した。また、特別企画としてメインエントランス付近で『ぼくたち、わたしたちが見ている世界の写真展』を開催した。
実施方法	学校PR動画を見ることのできるQRコードを入れたポスター、チラシを作成し、仙台圏全ての小中学校、市内主要施設、支援機関、地下鉄などに配布、掲示した。ホームページから「ふとくまつりの案内」のページに行けるようにリンクを作成した。附属幼稚園、附属中学校との交流の際に、児童生徒が自ららしを渡し、ふとくまつりに来てもらえるようPRした。また、地元の新聞に紹介記事を掲載してもらい、広くPRした。ふとくまつり全体の準備は保護者が担い、当日は学生ボランティアの協力を得た。	
参加人数	479名	

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none">○「ぼくたち、わたしたちが見ている世界の写真展」を企画し、児童生徒の目線で撮影した写真にタイトル・コメントを付けて展示した。来場者に、撮影者に向けたメッセージを自由に写真に貼り付けてもらった。○PTAを中心にバザーブース、ゲームブースを担当し、企画・運営を行った。(附属中学ボランティアに参加してもらった)また、保護者の有志によるクワガタ販売を行った。中学部、高等部の生徒による作業学習で製作した製品を販売するコーナーを設置した。○高等部の総合サービス班の生徒が企画・運営する喫茶コーナーを行った。○福祉作業所の選定は卒業生の就労先を主に選び、体育館内に6事業所、屋外に移動販売車(カレー)1台の合計7店の出店があった。○校長先生コーナーとして、わたあめ、ポップコーン、アイスクリームの販売を行った。(大学生ボランティアに参加してもらった)
	結果	<ul style="list-style-type: none">・ポスター掲示やチラシ配布、新聞掲載などの効果により、当日はオープン前からメインエントランス前で待っている来校者が多数見受けられ、来場者数は過去最高の479名という大盛会となった。・生徒の製作品やバザーブースも好評で、ほとんどが早い時間に完売となった。・福祉作業所の出品はパンやお弁当、カレー、お菓子、生花、雑貨などとバラエティに富み、大変好評を得た。・子供コーナーは魅力的な景品が多く、子供たちがとても楽しく遊んでいた。・特別企画「ぼくたち、わたしたちが見ている世界の写真展」では、子供たちが普段見ている世界観を大勢の方々に感じてもらい、大変好評を得た。ふとくまつり1日だけの展示では惜しいという声が多く、ふとくまつり後に校内展示を行った。また、外部のカフェギャラリーで写真展を開催した。カフェギャラリーでの写真展は、来場した一般の方からも大好評を得て、温かいメッセージがたくさん寄せられた。さらに、「ぼくたち、わたしたちが見ている世界の写真展」は地元新聞紙面にも大きく取り上げられ、特別支援学校に通う子供たちへの理解・啓発に大いに役立った。その後、附属小学校からの依頼を受け附属小学校作品展でも展示したところ高い評価を得、附属小学校公開研究会での再展示をさらに依頼された。その後も、外部イベントに作品を展示してほしいという依頼があり、検討しているところである。ふとくまつりの特別企画として開催した写真展ではあるが、プレゼンスがある企画となった。

	所感	<ul style="list-style-type: none">・過去最多数の来校者で非常ににぎわい、大いに盛り上がったと思う。・本校児童生徒にとって、多くのお客様や、ボランティアと交流するいい機会となった。・チラシのうら面に会場内の案内図を入れたところ、分かりやすいと来校者に喜ばれた。・ふとくまつり内での写真展の大成功を受け、もっと多くの人に見てもらってはという声が多く聞かれ、いろいろな場所での展示が行われた。それにより、障がいのある子供たちの見ている独特な世界観をたくさんの人にも感じてもらえたと思う。写真のタイトルやコメントなどからシチュエーションを想像してもらい、それについてのメッセージを貼り付けてもらったことで、見ている人が撮影者の世界に入り込んでいるようにも感じられた。
--	----	---

添付書類	写真 (別紙)
------	------------

平成30年度宮城教育大学附属特別支援学校『ふとくまつり』
「ぼくたち、わたしたちが見ている世界の写真展」(本校体育館)



カフェギャラリーでの写真展



平成30年度宮城教育大学附属特別支援学校『ふとくまつり』の様子



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成31年1月7日
主管学校名	香川大学教育学部附属坂出小学校
PTA会長名	宮本昌尚

実施概要	主管校	香川大学教育学部附属坂出小学校
	交流校	香川大学教育学部附属特別支援学校
	実施活動名	「きっとできる木工教室」「親子カヌー教室」「天体観測会」
	実施日時	平成30年7月28日(土), 平成30年10月27日(土), 平成30年12月14日(金)
	実施場所	香川大学教育学部附属坂出小学校図工室, 府中湖カヌーセンター, 附属坂出中学校
	実施目的	ものづくりやカヌー, 天体観測を通して互いのよさを認め合うため
	実施内容	木材を利用したものづくり, カヌー, 天体観測
	実施方法	・木工作業の講師を招き, 親子でものづくりを行う・カヌーの指導を受け, 親子でカヌーを楽しむ ・天体観測を行う
参加人数	小学校, 特別支援学校の児童, 生徒, 保護者 約100名	

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none">・本箱やティッシュ用木箱などを親子で製作した・府中湖でカヌーの乗り方を教えてもらい, 親子でカヌーを体験した・附属中学校の天体ドームで火星, 月, オリオン大星雲を見たり, ふたご座流星群の観測をした。
	結果	どの活動も好評で, 休日のよい親子体験の場となった。 附属坂出小学校では, 国の施策「体験的学習活動等休業日」を10月の最後の木, 金, 土, 日に位置づけており, その4連休の土曜日にカヌー教室を位置づけた。参加した子供は喜んでいました。
	所感	特別支援学校との合同の行事をこれからも模索していきたい。

添付書類	
------	--

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成31年1月7日(月)
学校名	香川大学教育学部附属坂出小学校

夏休み企画！小学校・特別支援学校合同木工教室開催

附属特別支援学校親和会の清水様にご協力頂き、木工教室を7月28日(土)に開催しました。児童31名、保護者20名の参加で、それぞれ本棚、ティッシュボックスなどをきりや金槌などを使って作りました。暑い中でしたが、本格的な木工にそれぞれが集中して、作り上げました。保護者の方でも、初体験のーから作る木工は大変でしたが、最後は達成感の笑顔でした。色塗りまではできなかったのも、それぞれオリジナルの色塗りをして、夏休みの宿題の工作の作品になったのではないのでしょうか。



秋のOYGカヌー体験教室

10月のわくわく4連休の中日、10月27日、前日が雨でどうなるかと思っていましたが、無事に風が強いながらも、秋晴れの中、総勢22名の参加で開催できました。国際的なカヌーの練習場にも使われる府中湖で、12艇ほどのカヌーで、いつもとは違うエリアでカヌーを体験しました。カヌー体験者の方は、カヌー未経験の方のサポートをして頂きながら、和気あいあいとした雰囲気、充実したカヌー体験となりました。親と子供が一体となって一つの艇を協力して漕ぐ、素晴らしい体験でした。



活動に参加しての感想

天体観測会

12月14日、附属坂出中学校の屋上で開催されました。20時頃まで曇っていましたが、開始に合わせて晴れだし、たくさんのふたご座流星群を肉眼で楽しんだり、月、火星、オリオン大星雲を天体ドームの大望遠鏡で観察したりしました。子供も大人も歓声を上げ自然の美しさを満喫しました。



カンガルーシップ活動

就労支援プロジェクト 実施報告書

報告日 令和3年2月2日

主管学校名 筑波大学附属大塚特別支援学校

PTA会長名 新見 顕子

実施概要	主管校	筑波大学附属大塚特別支援学校
	交流校	筑波大学附属大塚特別支援学校
	実施活動名	チャレンジハウスキーピング
	実施日時	令和2年12月18日、令和3年1月22日
	実施場所	本校体育館
	実施目的	清掃スキルをプロから学ぶ。誰もが出来る清掃システムを学ぶ。進路先の情報を得る・進路先開拓。
	実施内容	工夫された清掃道具を使い、清掃の基礎であるテーブル拭きとモップ掛けの指導を受ける。
	実施方法	生徒と保護者が専門スタッフから清掃指導を受ける。継続して行い、保護者も指導出来る体制を整える。
参加人数	指導者：3名、生徒：27名、保護者：25名、教職員（見学）：10名	

報告事項	内容	<p>東栄部品㈱からスタッフ3名が来校。感染対策のため会場を体育館に設定し、生徒同士の間隔をとって活動を行いました。</p> <p>活動の前に、清掃の大切さは勿論のこと、日頃の手洗い、消毒のことも教えて頂きました。</p> <p>事前の打ち合わせ通り、当日は清掃の基礎であるテーブル拭きとモップ掛けを大きく2班に分けて、交代で指導して頂きました。</p> <p>東栄部品㈱が開発した、手が汚れない、誰がやっても同じ仕上がりになる道具を体験。時間内に同じ作業を繰り返し行いながら、指導者から全体・個人に的確なアドバイスをして頂きました。保護者は一緒に活動をしたり、活動の様子を見学したり、生徒にアドバイスをしたりしました。また生徒同士の間隔が近くなり過ぎた時や順番が守れていない時に声掛けを行いました。教職員は清掃指導の仕方、生徒の活動の様子を見学しました。</p> <p>第二回目は緊急事態宣言発出により、やむを得ず中止しました。代わりに東栄部品㈱の方にヒアリングを行い、保護者・生徒、教職員で共有しました。</p>
	結果	<p>清掃のプロから直接指導を受けるということで、生徒・保護者ともに大変期待が高かったです。</p> <p>清掃は「大変」、「辛い」などのイメージを持つ人が多いですが、誰もが使いやすい道具を使って行ってみると「簡単」、「上手く出来る」、「楽しい」と実感出来ました。生徒の皆さんが終始笑顔だったのが印象的です。「またやりたい!」と次回を楽しみにする声が多く聞かれました。</p> <p>指導者からは「なぜ清掃が大事なのか」という根本的なことから、「清掃は衛生管理」という新たな意識付けもしていただき、日常でもお仕事としてもとても大切なことだということを改めて学ぶ機会となりました。</p> <p>見学した保護者・教職員からは、清掃指導を定期的に受けてスキルアップをしていきたいとの声が多く挙がりました。中学部・高等部ではクラス・作業班単位で清掃指導を依頼したところもありました。</p> <p>PTA役員が行った東栄部品㈱のヒアリングでは、清掃関連の進路先や求められる力について、他校の取組み例、そして今後の清掃活動の取り組み方などを教えて頂き、学校全体で共有しました。</p>
	所感	<p>参加した幼稚部から高等部までの生徒全員が楽しく清掃に取り組む姿を見て、ノウハウと道具次第で、誰もが出来る!を実感しました。昔ながらの掃除の仕方からも学ぶことは多いですが、例えば雑巾を「きつく絞る」の「きつく」は人によって基準(感覚)が違うため、「分かりづらさ」があります。道具を使えば、誰がやっても同じ仕上がりになり、出来た!と実感し、褒められればもっとやってみたくなる。そんな好循環がつけれる清掃の取組みを、今後も継続していきたいです。</p> <p>清掃は家庭・学校・進路先だけでなく、地域や社会との繋がりにも役立ちます。どんどん広げていきたいと考えています。</p>

添付書類

活動写真、領収証、感想



カンガルーシップ活動
ネイバーサポートプロジェクト
実施報告書

報告日 令和元年9月19日

学校名 岐阜大学教育学部附属学校

PTA会長名 瀬川 典秀

実施概要	実施活動名	デイキャンプ お祭りで楽しいお買い物の模擬体験をしよう!!お母さんとお子さんが共に笑顔になれる時間を過ごす。
	実施日時	令和元年8月1日
	実施場所	岐阜大学特別支援教育センター
	実施目的	異年齢の生徒児童・大学生・保護者とふれあい、連携を深める。仕事についての見通しを持つ。買い物の模擬体験を通してお金のやり取りの学習。
	実施内容	出店の中でお金のやりとりの体験と小中を越えた交流。卒業生とその保護者から就労について学ぶ。
	実施方法	デイキャンプの案内とチラシを配布し、児童・生徒、兄弟、保護者の参加を募った。
	参加人数	児童・生徒、兄妹39名、保護者56名、大学生32、教職員8、講師1名 136名

報告事項	内容	<p>第一部ではお祭りをイメージしてフランクフルト、かき氷、保護者による手作りのゲーム（的入れ、ペットボトルのボーリング、ヨーヨー釣り）を行い、手作りのお金を使った買い物体験を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売は中学生が2グループに分かれて1時間ずつ担当。 ・食品は保護者が準備、調理を行う。 ・買い物をする時は、中学生、小学生混合の小グループに分かれ、大学生ボランティアに協力していただき、ゆっくりと支払いをする。 ・買い物際にはスタンプラリーを使い全部のお店を回るルール決めた。 <p>第二部では、附属中学校卒業生3名の方にインタビュー形式で仕事について伺う。（仕事の内容や環境・考え方について、高等部で学んだこと等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職場で働いている様子を事前にビデオやカメラで撮り、映像で紹介する。 ・卒業生の話しには中学2年、3年の生徒と保護者が参加。 ・座談会では、卒業生の保護者3名の方と保護者は3グループに分かれて情報交換を行う。 <p>最後に岐阜大学の神野教授よりまとめの話しを伺う</p>
	結果	<p>第一部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・販売係をする中学生が真剣に対応している姿がとても良かった。1時間ずつの交代制でお客さんが居ない時もしっかりと立ち自分の役割を果たしていた。 ・小学生はのびのびと買い物をし、ゲームを楽しんでいる事が伝わってきた。 ・中学生が小学生を誘導したり、教えてあげるなどの姿もみられた。 <p>第二部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生は緊張しながらも一生懸命に答えてくれ、中学生も、同世代の話ということもあってか、とても興味深く聞いている姿がみられた。インタビュー形式だったため、話す側も聞く側もとてもわかりやすく進行することができた。 ・卒業生の保護者との座談会では、生の声を聞くことが出来、多くの保護者からとても良かった今後も継続して欲しいという声が多くあった。
	所感	<p>お金の支払いが出来ないという保護者の声から、お金を使ったお買い物体験を通してお金のやり取りを学ぼうと今回のデイキャンプを企画。初めての試みでお釣りが足りなくなるというハプニングもあったが、大学生や保護者の協力を得て、無事実施することが出来た。普段一緒に活動することのない小中が合同で行うことで、連携が深まった。また大学生とも交流ができ、幅広い体験ができた。</p> <p>第二部で卒業生とその保護者の生の声を聞いた事が、参加して下さった保護者の方から大変好評だった。次年度以降も実施を希望する声がほとんどで、近い将来への見通しを持ってた事が有意義であった。</p>

添付書類

参加感想、収支決算書、領収書添付シート

カンガルーシップ活動
ネイバーサポートプロジェクト
参加感想

提出日	平成31年2月21日
学校名	岐阜大学教育学部附属学校

- ・発達障害の子のいるご家庭の大変さが少しわかりました
- ・子を育てる親同士、今後いろいろと話しができる機会があると嬉しいです
- ・子ども達にも聞かせてあげたかったです
- ・情熱大陸やクリスマスソング等、なじみのある曲が聞けて楽しかったです
- ・打楽器の演奏、とても気持ち良かったです
- ・音楽が脳にとっても良い効果をもたらすことが知れて、学びばかりでした
- ・音楽療法に興味が出てきました
- ・音楽はどんな人も幸せにするんだなと実感させて頂きました
- ・濱島さんのお人柄が素敵でした
- ・小さなお子様も一緒に楽しめるのは、音楽の力はすごいなと思いました
- ・また開催してほしいです
- ・ヴァイオリンの生演奏ははじめてでしたが、とても心地よい音色でした
- ・特支の子ども達と一緒に音楽を楽しみたいくなりました